

平成27年度病害虫発生予察注意報第5号

平成27年12月1日
愛知県

作物名：キュウリ

病害虫名：べと病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

11月下旬の巡回調査（8ほ場）では、発病葉率 13.8%（平年2.7%、前年0%）、発生ほ場率87.5%（平年36.3%、前年0%）で、過去10年と比較して発病葉率、発生ほ場率とも最も高い。

4 防除対策

- （1）施設内が多湿にならないように、余分なかん水を避けるとともに、換気などにより適正な湿度管理を行う。
- （2）樹勢が低下すると発病が助長されるので、肥料切れにならないように適切な肥培管理を行う。
- （3）表を参考に防除を実施する。
- （4）薬剤は葉裏に十分かかるように丁寧に散布する。
- （5）薬剤感受性低下を避けるため、異なるFRACコードの薬剤をローテーション散布する。
- （6）発病葉は伝染源となるので、施設外へ持ち出し適切に処分する。

表 キュウリべと病に対する主な防除薬剤

薬剤名	成分名	FRACコード
アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン	11
ザンプロDMフロアブル	アメトクトラジン・ジメトモルフ	45・40
ジマンダイセンフロアブル	マンゼブ	M3
ジャストフィットフロアブル	フルオピコリド・ベンチアバリカルブイソプロピル	43・40
ベトファイター顆粒水和剤	シモキサニル・ベンチアバリカルブイソプロピル	27・40
ホライズンドライフロアブル	シモキサニル・ファモキサドン	27・11
ランマンフロアブル	シアゾファミド	21
リドミルゴールドMZ	マンゼブ・メタラキシルM	M3・4

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、<http://www.jfrac.com/fracコード表/> を参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-62-0085 内線471